

(添付1)データ項目の 説明

データ項目説明 【実績データ】

作成日:2015/11/25
更新日:2018/7/1

No	種類	データ項目名	データ内容説明	値	標準
101	WHEN	年度	取引「発生日」の所属年度を表す	・2017年	○
102	WHEN	半期	取引「発生日」の所属紙・下期を表す	・2017年上期	○
103	WHEN	四半期	取引「発生日」の所属第n四半期を表す	・2017年第2Q	○
104	WHEN	月度	取引「発生日」の所属年月度を表す	・2017年4月	○
105	WHEN	発生日	①原始取引の発生日を表す(伝票ヘッダーの取引発生日) ②原価計算の処理日(月末日)を表す	①(ex)2015/04/02(仕入日・売上日・投入日等取引内容(入出庫分類)により異なる日付が入る) ②原価集計日付(月末日)が入る	×
201	HOW	予実区分	取引データが実績/計画/見込のどの種類なのかを表す	・計画/実績/見込	×
202	HOW	フロー区分	コストフローのBOX(9つの箱)の種類を表す ※"積送中"はコストフローにBOX表示されない10個目のBOX	・仕入(材料/労務費/外注費/経費/製造間接費)/仕掛/製品/商品/積送中/損益	○
203	HOW	出入区分	コストフローのキャビネット(小さい箱)の種類を表す	・月初在庫/入庫/出庫/差異/月末在庫	○
204	HOW	入出庫分類	取引の内容を表す	・別紙	○
205	HOW	原価要素	決算書に合わせた原価の分類	・材料費/労務費/外注費/経費/製造間接費/販管費/売上/(空白) ※集計上収益である"売上"もここでは原価要素として扱っている ※(空白)はエラーデータである	○
206	HOW	科目名	会計データの勘定科目を表す	・会計システム勘定科目コード+"△"+勘定科目名でセットされる (ex)006230 広告宣伝費)	○
207	HOW	原価分類名	基幹システムデータの勘定科目(内訳)を表す	※「原価分類名」と「科目名」はN:1で整合が取れている必要がある	○
208	HOW	原価品番コード	原価明細として投入する原価資源の品番を表す	・材料費/労務費/外注費/経費/製造間接費ごとに品番マスターに登録しておく ・以下のような内容で設定される ①材料費:材料ごとに原材料品番を設定(標準(予定)単価もセット) ②労務費:作業内容ごとに"作業品番"を設定(標準(予定)単価は別途算出) ③外注費:外注作業ごとに(製品コード+工順)"外注品番"を設定 ④経費:経費内容ごとに経費品番を設定(標準(予定)単価もセット) ⑤製造間接費:"製造間接費品番"を一つ設定(標準(予定)単価は別途算出)	○
209	HOW	原価品番名	上記「原価品番コード」の名称を表す	・(ex)APC-00234 ギアカム)	○
210	HOW	直間区分	「直接費」か「間接費」かを表す	・直/間	○
211	HOW	間接費配賦レベル	製造間接費の共通費配賦・補助部門費配賦の段階レベルを表す	・「共通費配賦マスター」「補助部門費配賦マスター」の配賦レベルを表す ・以下の入出庫分類で0~nの順に採番される (1)共通費の配賦 (2)補助部門費の配賦 ・原価要素="製造間接費"かつ入出区分="入庫"のデータのみセットされる	○
212	HOW	元原価要素	「原価要素」="製造間接費"のデータが配賦処理前に「原価要素」が何であったかを表す	・材料費/労務費/外注費/経費/(空白) ※「原価要素」="製造間接費"以外は(空白)である ※上記以外はエラーである	○
213	HOW	原価計算区分	取引データがどの原価計算による集計結果なのかを表す ①標準原価計算 ②個別原価計算 ③対象外:商品仕入(商品BOX)/サービス(売上原価キャビネット)	・個別/標準/対象外/(空白) ※(空白)はエラーデータである	○
214	HOW	原価単価	上記「原価品番コード」の受払単価を表す	・お客様の基幹システムの単位変換による(ex)kg/個/m) ※投入単位≠(前工程)消費単位(ex)投入単位=個、(前工程)消費単位=m)の場合、 基幹システム側に(1)投入実績データが"個"で存在し、(2)(前工程)消費実績データがmで存在するという前提でデータを取り込む	×
215	HOW	原価単位	上記「原価品番コード」の受払単位を表す	・お客様の基幹システムの単位変換による(ex)kg/個/m) ※投入単位≠(前工程)消費単位(ex)投入単位=個、(前工程)消費単位=m)の場合、 基幹システム側に(1)投入実績データが"個"で存在し、(2)(前工程)消費実績データがmで存在するという前提でデータを取り込む	×
216	HOW	投入LOT	上記原価品番コードに付属する材料および加工部品に付された納入(完成)LOT番号のどれを使用したかを表す	・お客様の基幹システムに設定されている内容をセットする((空白)可) ・「入出区分」="入庫"でセットされる	×

No	種類	データ項目名	データ内容説明	値	標準
301	WHAT	製品大分類名	上記「製品コード」の大分類名	・管理・集計上社が任意に設定する分類(「製品中分類」「製品小分類」と独立)	○
302	WHAT	製品中分類名	上記「製品コード」の中分類名	・管理・集計上社が任意に設定する分類(「製品大分類」「製品小分類」と独立)	○
303	WHAT	製品小分類名	上記「製品コード」の小分類名	・管理・集計上社が任意に設定する分類(「製品大分類」「製品中分類」と独立)	○
304	WHAT	品番区分	取引データが「品番」「製品品番コード」「原価品番コード」の種類を表す	・製品/個別製品/材料/加工部品/その他/他原価/(空白)	○
305	WHAT	製番	①個別製品の「製番」を表す ②量産製品の「製造指示製番」を表す	・個別製品では必須、量産製品では任意となる ・お客様の基幹システムによる(ex) X0001)	○
306	WHAT	完成LOT	上記原価品番コードに付属する材料および加工部品に付された納入(完成)LOT番号を表す	・「入出区分」=「出庫」でセットされる	○
307	WHAT	製品品番コード	製品(仕掛品を含む)/商品のコード	・品番マスターに登録しておく ・品番区分=製品/加工部品/商品は必須 ※(空白)はエラー ・品番区分=材料	○
308	WHAT	製品品番名	上記「製品品番コード」の名称を表す	・(ex)123-4567 SHIN加工製品XXX)	○
309	WHAT	工順	「製品コード」ごとの生産工程の順番に付した番号を表す	・直線ライン以外は「加工部品コード」を設定し別途工順設定をすることとなる ・以下の番号付けがされる ①0:製品完成工順(品番区分=「製品」) ※「品番区分」=「加工部品」の場合で工順0の場合は完成工程であるが「製品」へ行かず「仕掛」のまま留まっている ②1~n:第一工順1より順に採番される ・「工順」は前工程品や「加工部品」を再投入した場合再投入した工順がセットされている ※一方「投入工順」は「原始投入」したのがどの工順(前工程品の場合(「加工部品」の場合は「加工部品の何工順目だったのか))だったのかを表す	○
310	WHAT	工程名	上記「品番コード+工順」に対応する工程の名前を表す	・「工程マスター」に登録しておく ※(任意、空白可)	○
311	WHAT	投入工順	取引データの原価データが「投入」された工順がどこかを表す	・採番ルールは次項を除き上記「工順」と同じ ・当「工順」が「原始投入」(その原価材が初めて投入された時)工順の場合「投入工順」には「自」(自工程)と表示される ・従って「当期総製造費用」等投入原価費用の総額を表示させたい場合、「自」のデータの中の「品番区分」=「製品」「加工部品」などの再投入があるのでその部分を除く必要がある	○
312	WHAT	投入工程名	上記「品番コード+投入工順」に対応する工程の名前を表す	・「工程マスター」に登録しておく ※(任意、空白可)	○
313	WHAT	不良区分	取引データの「品番」「製品品番コード」「原価品番コード」が正常品か不良品かを表す	・(空白は良品)/不良/保留 ・「入出区分」=「月初在庫」か「月末在庫」のみ区分が発生する	○
314	WHAT	製品単位	上記「品番コード(+工順)」の受払単位を表す	・お客様の基幹システムの単位変換による(ex) kg/個/m) ※投入単位≠(前工程)消費単位(ex)投入単位=個、(前工程)消費単位=m)の場合、 基幹システム側に(1)投入実績データが「個」で存在し、(2)(前工程)消費実績データがmで存在するという前提でデータを取り込む	×
315	WHAT	製品単価	上記「品番コード(+工順)」の受払単位を表す	・お客様の基幹システムの単位変換による(ex) kg/個/m) ※投入単位≠(前工程)消費単位(ex)投入単位=個、(前工程)消費単位=m)の場合、 基幹システム側に(1)投入実績データが「個」で存在し、(2)(前工程)消費実績データがmで存在するという前提でデータを取り込む	×
401	WHO	事業所名	事業所コード+名称を表す	・お客様の基幹システムに設定されている事業所コードを基幹システム事業所コード+「Δ」+事業所名でセットされる ・1100 本社	○
402	WHO	部名	部コード+名称を表す	・お客様の基幹システムに設定されている部コードを基幹システム部コード+「Δ」+部名でセットされる ・1140 VT研究所	○
403	WHO	課名	課コード+名称を表す	・お客様の基幹システムに設定されている課コードを基幹システム課コード+「Δ」+課名でセットされる ・1141 営業	○
404	WHO	部署名	担当者コード+名前を表す	・お客様の基幹システムに設定されている担当者コードを基幹システム担当者コード+「Δ」+担当者名でセットされる (ex)0111 岡本 俊也)	○
405	WHO	事業部名	事業部コード+名称を表す	・「フロー区分」=「仕入」は購買担当者がセットされ「仕掛」「製品」「商品」のデータは製造・在庫管理担当者がセットされ、「損益」のデータには販売担当者がセットされる ・お客様の基幹システムに設定されている事業部コードを基幹システム事業部コード+「Δ」+事業部名でセットされる ・AAAA A製品事業部	○
406	WHO	工程管理部署名	製造現場の工程管理の部署を表す	・コード体系は「部署名」と同じ ・一つの「製品コード」+「工順」(「工程名」ではない)は一つの「工程管理部署」と結びつく	○
407	WHO	在庫場所名	在庫管理場所を表す	・お客様の期間システムに設定されている在庫保管場所情報をコード化してSHINも「在庫場所マスター」に登録する ・コード体系は任意	○
408	WHO	担当者名	担当者コード+名前を表す	・お客様の基幹システムに設定されている担当者コードを基幹システム担当者コード+「Δ」+担当者名でセットされる (ex)0111 岡本 俊也) ・「フロー区分」=「仕入」は購買担当者がセットされ「仕掛」「製品」「商品」のデータは製造・在庫管理担当者がセットされ、「損益」のデータには販売担当者がセットされる	○

No	種類	データ項目名	データ内容説明	値	標準
501	WHERE	取引先エリア名	取引先を分類する名称を表す	下記取引先を分類する場合に任意設定(ex)100 国内取引先)	○
502	WHERE	取引先名	取引先コード+名称を表す	・お客様の基幹システムに設定されてる取引先コードを基幹システム取引先コード+“△”+取引先名でセットされる (ex)0135 (株)イープラス) ・「フロー区分」=「仕入」「仕掛」「製品」「商品」のデータは仕入先名がセットされ、「損益」のデータには「得意先」がセットされる	○
801	VALUE	製品数量	製品取引数量(仕入時は原価取引数量)を表す	①原価金額の場合:「原価単価」×「原価数量」 ②売上金額の場合:「原価単価」(販売単価がセットされている)×「製品数量」	○
803	VALUE	製品単価 ※原価ヘッダー	販売取引単価を表す	フロー区分=「損益」かつ「入出区分」=「出庫」(売上)で実際販売単価がセットされる	○
804	VALUE	原価単価 ※原価明細	原価取引単価(売上時は販売単価)を表す	・「原価単価」はフロー区分ごとに下記に分かれる (1)原価単価のセット ①原材料:1)実際仕入単価または2)標準単価(単価マスター設定予定単価) ②労務費:1)SHINが計算した(部署別)労務費単価または2)設定予定単価 ③外注費:1)実際仕入単価または2)標準単価(単価マスター設定予定単価) ④経費:1)実際仕入単価または2)標準単価(単価マスター設定予定単価) ⑤製造間接費:1)SHINが計算した(部署別)労務費単価または2)設定予定単価 ⑥仕掛品:「原価要素ごとに」上記①~⑤の2) ⑦製品:「原価要素ごとに」上記①~⑤の2) ⑧商品:1)実際仕入単価または標準単価(単価マスター設定予定単価) ⑨損益(売上以外):上記⑦⑧(この他原価振替額は実際振替単価) (2)販売単価のセット ⑩損益(売上):実際販売単価	○
805	VALUE	原単位	「製品」(+「工順」)1単位当たりの原価資源の使用量	・紐づいている親レコード(伝票ヘッダー)単位で、「原価品番コード」「原価単位」ごとに「製品」+「工順」通過品1単位の原価消費数量が以下の区分でセットされる ①標準原価計算:SHIN「標準原価マスター」に設定の「原単位」 ②個別原価計算:個別原価計算集計後の実際「原価数量」÷「製品数量」がセットされる	○
806	VALUE	原価数量	製品数量当たりの総消費数量	・紐づいている親レコード(伝票ヘッダー)単位で、「原価品番コード」「原価単位」ごとに「製品」+「工順」通過品合計の原価消費数量が以下の区分でセットされる ①標準原価計算:SHIN「標準原価マスター」に設定の「原単位」×「製品数量」がセットされる ②個別原価計算:個別原価計算集計後の実際「原価数量」がセットされる	○
807	VALUE	金額	原価金額あるいは売上金額を表示	①原価金額の場合:「原価単価」×「原価数量」 ②売上金額の場合:「原価単価」(販売単価がセットされている)×「製品数量」	○
808	VALUE	進捗率	ライン上に残留する仕掛品の進捗率を表す ※工程完成在庫を除く	・フロー区分=「仕掛」かつ「入出区分」=「月初在庫」「月末在庫」の時任意でセットされる ・セット条件は以下に分かれる ①基幹生産管理システムにて管理されている場合はその「進捗率」をセットする ②SHINの「追加データ入力」「進捗率登録」機能で「品番コード」+「工順」を指定して追加データとして登録するとその「進捗率」がセットされる	○
901	キー	原価No	キーコードとしてSHINが自動設定	ex)G123456789	×
902	キー	行番号	原価明細データの原価Noに対する枝番	1~n	×